



## めざせ！Jリーグ！ ガイナレ鳥取の挑戦

現在、Jリーグ昇格をめざしている「ガイナレ鳥取」は、昭和58（1983）年に鳥取県教育団として発足し、SC鳥取を経て発展したサッカーチームです。昨年は惜しくもJリーグに昇格できませんでしたが、「今年こそは」と選手・監督およびスタッフらが一丸となって、試合に臨んでいます。また、ガイナレ鳥取は地域に根ざしたチームづくりを進めています。

このガイナレ鳥取を応援する気運を高めようと、鳥取市歴史博物館「やまびこ館」では、4月22日から6月21日までガイナレ鳥取応援展示「めざせ！Jリーグ！ガイナレ鳥取の挑戦」を開催しています。

この展示会では、ガイナレ鳥取の歩みや所属する選手たちについて紹介するとともに、サッカーの歴史や鳥取とサッカーのつながりについても広く知っていただきます。

また、ガイナレ鳥取のチームや選手を身近に感じてもらえるよう、現役選手と子どもたちとの交流イベントなども予定しています。

なお、会期中の6月5日～21日は、午後10時まで開館します。この時期には、やまびこ館のある<sup>おうちだに</sup>榑谿公園に無数のホタルが乱舞します。ホタル鑑賞とともに、この展示会をぜひご覧ください。

※詳細は27ページをご覧ください。

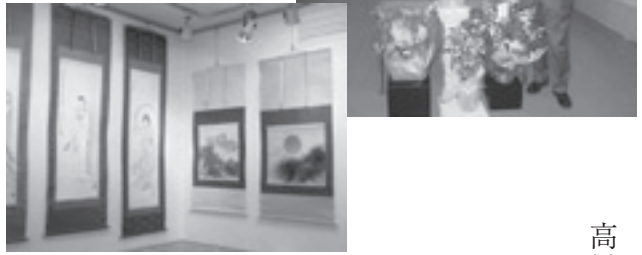
写真提供：ガイナレ鳥取



3月15日の開幕戦（とりぎんバードスタジアム）

問い合わせ先

やまびこ館 上町88 (0857) 23-2140



今年の1月に開催した新春墨彩画展のようす

高橋さんは、昭和53年に高校教師を退職しましたが、ちょうどそのころに福祉文化会館が開館し、そこを拠点に活動を始めた「鳥取市働く婦人の家」の文化教室の水墨画の講師に<sup>はつてき</sup>抜擢。そこでの講座は1年で終わり、その年の生徒約30人を母体に、墨彩画教室「五彩会」を

始めました。五彩会の名前は、中国の言葉「墨に五彩あり（墨はあらゆる色を表現する）」からとつたもの。高橋さんの指導のもと、日本画や墨彩画を学び、毎年10月ごろに展示会を開催しています。「これまで教えた生徒は、だいたい300人くらいになります。一人前になった人もたくさんおり、5、6カ所の公民館で掛け持ちで教える人、絵手紙の大家とか、私よりもよほど活躍しています。素人が始めた絵が、こうやっていろんな人につながってい

くのが、何よりもうれしいですね」と目を細めます。墨彩画教室は、今でも毎週月曜日、パレットとつとりの市民交流ホールで行っています。**やはり個展が生きがい** 今年の1月、高橋さんが最後と決めていた個展を鳥取大丸で行いました。「個展という目標がなくなったとたんに、生きる張り合いがなくなってしまう。しばらく元気をなくしていました」と高橋さん。個展の慰労会を開いてくれた生徒さんた

ちが口々に「やめるなんて言わずに続けましょうよ」、「小さいものもいいではないですか。小品展をやりましょう」声をかけてくれました。その声に励まされ、高橋さんはい一度展示会を開くことに。「年度の年末か年始に、小品展をやることにしました」高橋さんは再び気力を取り戻しました。「絵を描くことは、みなさんのお世話で長生きさせてもらえたことへの恩返し」と語る高橋さん。墨彩画の制作に、教室での指導に、まだまだ現役は続きます。

### 退職後も「先生」に